

被災地の1日も早い復興に向けて!!熊本地震の被災地支援活動(漏水調査)派遣の報告

平成28年4月14日に発生した熊本地震に伴う被災地への支援活動として、上下水道局では熊本県西原村および宇土市へ応急復旧のための漏水調査作業の職員を派遣しました。一日も早いライフラインの復旧に向け、現地ではたびたび余震の起こる中、安全を確保しながら音聴棒などの機材を使用して水道管の破損が無いか調査を行いました。

にしはらむら 西原村における支援活動等の写真



▲地震より崩落した家屋



▲西原村での漏水調査



▲西原村での漏水調査

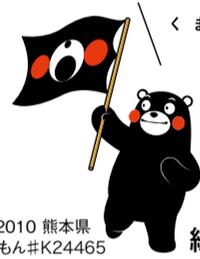
〔派遣職員の感想〕



西原村の支援活動(漏水調査)を行った地域の家屋の大多数が、被害により住める状況でなく、あらためて震災被害の大きさを痛感させられました。また、宇土市に関しては比較的、震災被害が小さいように感じられました。漏水調査にあたり、資機材の持込や現地での基礎資料の不足等から調査に苦慮したこともありましたが、被災地の方々からは、支援活動に対する感謝の言葉をいただき、また、地域の方々との会話の中で状況を伝えることにより、少しなりとも安心感を与えることができたと感じております。今回の支援活動は大変貴重な経験となり、今後、那覇市の上下水道の危機管理に活かしたいと思っております。

がんばるけん!

くまもとけん!



©2010 熊本県
くまもん#K24465

【お問い合わせ】
総務課 TEL:941-7801

うとし 宇土市における支援活動等の写真



▲瓦の散乱する家屋



▲宇土市での漏水調査



▲宇土市での漏水調査

使用後の食用油の処理について

使用した食用油をそのまま流しに流してしまうと、ご家庭の排水管詰まりや悪臭の原因となります。そこで牛乳などの紙パック、またはポリ袋やレジ袋などに新聞紙や使用済みの紙タオルなどを詰め、油をさましてから染み込ませます。

油のしみた紙や布をそのまましておくと、気温の高い夏場などは発熱して自然発火する場合がありますので、水を染み込ませ、粘着テープや輪ゴム等で口をしっかりとめて、もやすごみと一緒に捨てます。市販されている油凝固剤を利用して油を固めて、もやすごみと一緒に捨てる方法もあります。



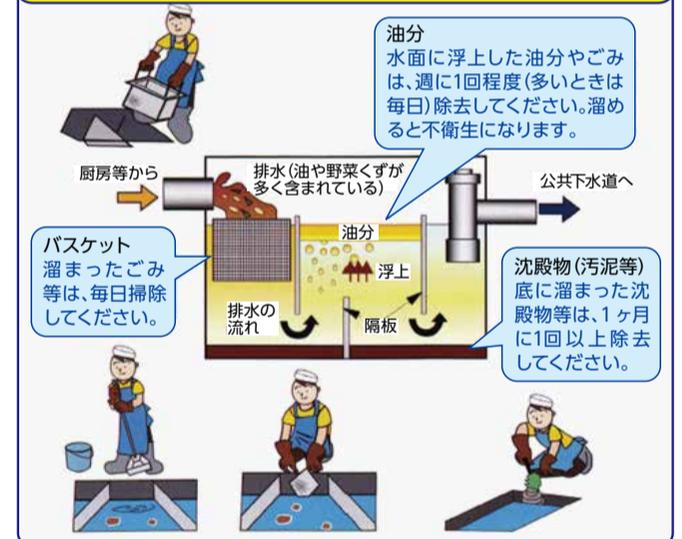
【お問い合わせ】
料金サービス課 排水設備係
TEL:941-7810



処理後は
もやすごみへ!

飲食店等においては、グリーストラップを設置して、下水道への油の流出を防ぎます。

グリーストラップの維持管理方法



▼油が汚水樹に付着した事例が下の写真です。



クイズに答えて 図書カードをもらおう!

ヒント!!
広報誌「なはの水」の記事を見てね。答えがかかっているよ。

Q 今後、上下水道とも施設が老朽化してくると、施設の更新を行なっていかねばなりません。さらに、更新にあわせて地震などの災害に備えた耐震化を進めていく必要があります。それには毎年いくらの資金が必要でしょうか?

A 次の3つからお選びください。
(ア) 毎年1億円以上 (イ) 毎年3億円以上 (ウ) 毎年20億円以上

答えが分かった方は、ハガキかFAX、Eメールで ①答え ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤本誌の感想をご記入のうえ、下記のあて先までご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に図書カード(1,000円分)を贈呈します。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

あて先 〒900-0006 那覇市おもろまち1-1-1 那覇市上下水道局総務課 FAX:941-7821 Eメール:soumu@water.naha.okinawa.jp
しめ切 平成28年10月31日(月) ※当日消印有効

※ご応募の際に得た個人情報、当選者への賞品の発送を目的に使用し、目的以外に使用することはありません。

雨水排水路の増水に注意!

排水路の中に入っははいけません!



急な雨による増水の恐れがあります。

排水路とは、雨水を集め川や海に放流している水路です。